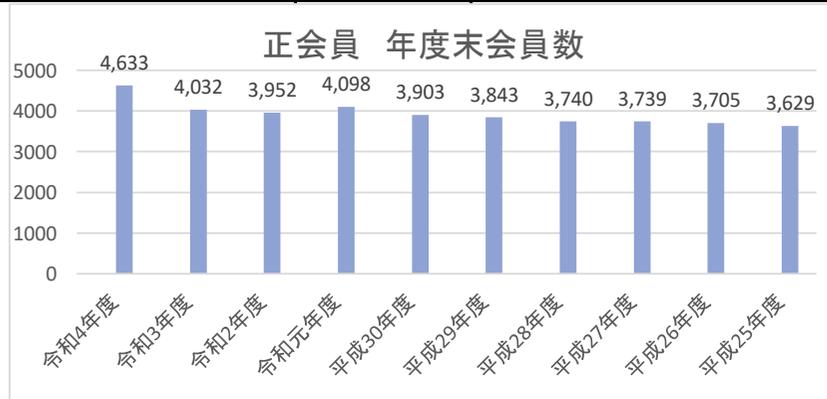


## 審議資料1

## 令和4年度庶務報告

## ●会員数 (令和5年3月31日現在)

		正会員	医師	看護師	救急隊員・ 救急救命士	薬剤師	臨床検査技師	放射線技師	ソーシャルワーカー	その他 ※	組織会員	賛助会員	合計
令和3年度末会員数		4,032	1,732	605	311	726	365	136	35	114	95	3	4,130
令和4年度	新入会	997	161	472	99	69	129	11	5	35	7	2	1,006
	届け出退会	131	41	34	3	28	9	6	1	10	2	0	133
	死亡退会者	3	2	0	0	0	1	0	0	0			3
	自然退会	262	89	82	34	27	7	4	1	18	2	0	264
令和4年度末 (R5.3月末) 会員数		4,633	1,761	961	373	740	477	137	38	121	98	5	4,736
令和3年度末 (R4.3月末) 会員数		4,032	1,732	605	311	726	365	136	36	115	97	3	4,132
令和2年度末 (R3.3月末) 会員数		3,952	1,751	617	305	674	304	152	35	114	94	3	4,049
令和元年度末 (R2.3月末) 会員数		4,098	1,826	671	299	668	298	162	35	138	97	3	4,198
平成30年度末 (H31.3月末) 会員数		3,903	1,888	479	289	649	270	150	30	148	101	3	4,007
平成29年度末 (H30.3月末) 会員数		3,843	1,935	478	261	613	224	151	29	152	100	4	3,947
平成28年度末 (H29.3月末) 会員数		3,740	1,977	491	216	581	135	156	28	156	95	4	3,840
平成27年度末 (H28.3月末) 会員数		3,739	2,000	522	193	1,024					94	5	3,838
平成26年度末 (H27.3月末) 会員数		3,705	2,025	533	209	938					93	6	3,804
平成25年度末 (H26.3月末) 会員数		3,629	2,050	536	217	826					97	6	3,732



※ その他の職種について

・臨床工学技士、臨床心理士、管理栄養士、大学院生、大学教員、事務員等

## 審議資料1

## 令和4年度庶務報告

## ●正会員年会費納入状況（令和5年3月31日現在）

	令和4年度	令和3年度 以前	令和5年度 以降	本年度 徴収率	前年度 徴収率
医師	1,453	114	13	86.13%	88.90%
看護師	750	15	4	78.37%	83.03%
救急隊員・ 救急救命士	282	26	1	76.84%	71.15%
薬剤師	669	32	4	90.53%	91.45%
検査技師	451	10	1	94.55%	94.52%
放射線技師	116	19	1	84.67%	84.56%
ソーシャルワーカー	33	2	0	86.84%	72.22%
その他	130	6	0	107.44%	117.39%
<b>計</b>	<b>3,884</b>	<b>224</b>	<b>24</b>	<b>83.83%</b>	<b>86.33%</b>

## 【物故会員】（届け出順） [敬称略]

いわい 岩井	あつし 敦志	八尾徳洲会総合病院 救急総合診療部 職種：医師
2023.1.28		
こせき 小關	すすむ 迪	医療法人社団 筑波記念会 筑波記念病院 会長 職種：医師
2023.2.10		
くの 久野	ゆたか 豊	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 検査科 職種：臨床検査技師
2023.2.21		

## 【役員】

理事	13名	
監事	2名	
社員（評議員）	419名	（令和3年4月1日委嘱） *任期：～R7年3月31日迄
名誉会員	38名	
功労会員	47名	

## 一般社団法人 日本臨床救急医学会 令和4(2022)年度事業報告

1. 第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会  
テーマ:「智・仁・勇を探求し、逆境を力に」  
ハイブリット開催:令和4(2022)年5月25日(水)～27日(金)  
会長:溝端 康光(大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学 教授)
2. 学会雑誌発行及びオンラインジャーナル 25巻(1,3～6号)(隔月刊)
3. 抄録集の発行 25巻(2号)
4. ニュースレターの発行 第13、14号(年2回)
5. 会議開催
  - 1) 理事会 年間 通常4回(令和4年5月25日、8月5日、11月18日、令和5年3月31日)
  - 2) 社員総会 令和4年5月25日
  - 3) 会員総会 令和4年5月26日
  - 4) 各種委員会活動(22委員会、特別委員会、合同委員会)  
編集委員会、総務委員会、メディカルコントロール検討委員会、会則検討委員会、教育研修委員会、評議員選出委員会、広報委員会、丸茂基金日本臨床救急医学会運営委員会、学校へのBLS教育導入検討委員会、自殺企図者のケアに関する検討委員会、国際委員会、救急認定薬剤師認定委員会、緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会、研究倫理委員会、小児救急委員会、患者安全推進検討委員会、傷病者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生のあり方に関する普及委員会、法執行機関との医療連携のあり方に関する検討委員会、蘇生ガイドラインと救急蘇生法検討委員会、救急活動時の救急隊の活動向上に向けた検討委員会、利益相反管理委員会、医療機関に所属する救急救命士に関する検討委員会、書籍編集に関する特別委員会、日本臨床救急医学会と日本循環器学会による循環器疾患に対する病院前救急の合同委員会
- 5) その他会議(外部会議への参加)  
日本救急医学会、全国MC協議会連絡会、日本救急撮影技師認定機構、日本臨床衛生検査技師会、JPTEC協議会、日本蘇生協議会(JRC)、日本救急医療財団、小児救急連絡協議会、臓器移植関連学会協議会、医療安全全国共同行動、救急認定ソーシャルワーカー認定機構、日本母体救命システム普及協議会(日本産婦人科医会)、日本交通科学学会、日本救護救急学会、2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合体
6. 研修会企画・運営およびコースガイド編集
  - ・JTAS
  - ・PEEC/PPST
  - ・PSLS/PCEC/ACEC/ISLS
  - ・PEMEC/PPMEC
  - ・AMLS
  - ・PACC
  - ・入院時重症患者対応メディエーター養成講習会

## 審議資料 2-1

### 7. 救急認定薬剤師認定関連

更新講習会（第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会 会期中）

令和4年度救急認定薬剤師講習会（令和4年9月10日WEB配信）

第10回、第11回救急認定薬剤師認定試験（令和4年8月28日AP市ヶ谷）

救急専門薬剤師認定関連

第1回救急専門薬剤師審査試験（令和5年2月18日AP市ヶ谷）

### 8. G7 広島サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業

G7 広島サミット救急・災害医療体制検討協議会

以上

## 予算・決算比較損益計算書(合計)

自2022年4月1日 至2023年3月31日

一般社団法人日本臨床救急医学会

(単位:円)

区分	予算額	決算額	増減	備考
経常損益の部				
収入の部				
1. 学術集会関連収入	81,558,000	84,299,000	2,741,000	第25回学術集会(溝端会長)
2. 会費収入	38,460,000	43,320,000	4,860,000	
正会員	37,050,000	41,890,000	4,840,000	10000円×3,831口 +358万円(JTAS関連新入会)
全国消防長会	100,000	100,000	0	10支部×10,000円
組織会員	1,110,000	1,130,000	20,000	113口×10,000円
賛助会員	200,000	200,000	0	4社×50,000円
3. 広告収入	800,000	572,000	△ 228,000	機関誌広告
4. その他事業収入	6,900,000	15,001,064	8,101,064	
①緊急度判定支援システム事業	360,000	1,256,000	896,000	登録手数料
②救急認定薬剤師認定	5,240,000	3,948,000	△ 1,292,000	申請、更新手数料、認定料、受講料
③PEECコース	0	0	0	地域主催者で徴収
④PEMECコース	1,300,000	1,298,000	△ 2,000	認定手数料
⑤G7サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業	0	3,585,633	3,585,633	
⑥G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会	0	4,913,431	4,913,431	
5. 学会誌定期購読料	870,000	837,000	△ 33,000	@3,000円
6. その他収入	802,000	904,026	102,026	
機関誌販売	10,000	0	△ 10,000	バックナンバー @1,500円+送料
著作権収入	200,000	273,894	73,894	メディカルオンライン等
印税収入	586,000	621,240	35,240	JTAS, PEEC, PEMEC他
PSLS CD販売	5,000	8,000	3,000	@500円
自殺未遂患者ケアスタッフ手引販売	0	0	0	@200円
預金利息	1,000	892	△ 108	
収入合計	129,390,000	144,933,090	15,543,090	
支出の部				
1. 事業費	113,722,370	118,542,001	△ 4,819,631	
学術集会関連費	81,558,000	81,559,782	△ 1,782	第25回学術集会(溝端会長)
学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0	第25回学術集会(溝端会長)
学会誌発行費	17,147,000	15,635,850	1,511,150	
通常号	10,575,000	9,270,086	1,304,914	25巻1,3~6号(計5冊分)
印刷製本	10,000,000	8,658,958	1,341,042	200万円×5冊
発送費	575,000	611,128	△ 36,128	10万円×5回、査読用切手代・封筒代
総会号	6,000,000	5,815,764	184,236	25巻2号(抄録号)
印刷製本	4,500,000	4,622,152	△ 122,152	
発送費	1,500,000	1,193,612	306,388	送料+手数料、封筒代込み
オンライン査読システム運用費	572,000	550,000	22,000	年間メンテナンス費用+サポート料
ニュースレター発行費	1,900,000	1,744,192	155,808	
制作費	700,000	895,748	△ 195,748	A4/8頁(4色刷り):5,500部×1、5,000部×1
発送費	1,200,000	848,444	351,556	送料+手数料、封筒代込み
会議費	4,520,000	1,986,494	2,533,506	※web会議開催を含む
理事会	500,000	485,115	14,885	定例4回
委員会	4,000,000	1,501,379	2,498,621	22委員会、小委員会・コース普及活動含む ZOOMアカウント料金
その他	20,000	0	20,000	外部会議への出席
講習会・認定事業	4,183,684	4,767,794	△ 584,110	
①緊急度判定支援システム事業	580,000	1,812,691	△ 1,232,691	ODPEC委託料、他
②薬剤師認定関連	1,963,684	1,484,916	478,768	事務費、通信費他
③PEECコース	120,000	110,000	10,000	ODPEC委託料
④PEMECコース	1,520,000	1,360,187	159,813	ODPEC委託料、webサイト移行費
システム費	2,042,500	2,042,500	0	
ソフトウェア減価償却費	745,600	745,600	0	(減価償却費) 脆弱性のための修繕費 604,800円 強化のためのOS更新費 140,800円
サーバー運用費	1,296,900	1,296,900	0	サーバー運用費(88,000円/月:税込) OSコンバート対応費(75,900円:税込) OS月額費用(13,750円/月:税込)
その他事業費	371,186	8,805,389	△ 8,434,203	
日本蘇生協議会年会費	200,000	250,000	△ 50,000	正社員として参画
「救急の日」賛助金	100,000	0	100,000	
医療安全全国共同行動会費	50,000	50,000	0	正会員会費1口分
東京リハ救急災害医療体制負担金	20,000	0	20,000	
G7サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業	0	3,585,633	△ 3,585,633	
G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会	0	4,913,431	△ 4,913,431	
期首棚卸高	52,579	51,393	1,186	手引 期首在庫
期末棚卸高	△ 51,393	△ 45,068	△ 6,325	手引 期末在庫
2. 事務費	10,820,000	10,606,044	213,956	
通信連絡費	1,230,000	1,085,796	144,204	
送料	1,100,000	994,098	105,902	
電話料金	130,000	91,698	38,302	固定電話6万円+携帯2台6万円+税
サーバー運用費	66,000	66,000	0	月5,000円+税
事務委託費	6,664,000	6,299,315	364,685	月30万円+繁忙期α+消費税 HP+Facebook更新料
支払手数料	500,000	531,483	△ 31,483	
印刷費	500,000	254,524	245,476	
備品費	210,000	170,544	39,456	PC購入
消耗品費	150,000	117,317	32,683	
事務局出張旅費	200,000	178,431	21,569	第25回学術集会(大阪)
租税公課	300,000	912,634	△ 612,634	
支払報酬	950,000	990,000	△ 40,000	税理士
雑費	50,000	0	50,000	
3. 予備費	400,000	54,167	345,833	
支出合計	124,942,370	129,202,212	△ 4,259,842	
税引前当期経常利益	4,447,630	15,730,878	11,283,248	
法人税・住民税等	570,000	2,681,900	△ 2,111,900	
当期純利益	3,877,630	13,048,978	9,171,348	

予算・決算比較損益計算書(一般)

自2022年4月1日 至2023年3月31日

一般社団法人日本臨床救急医学会

(単位:円)

区分	予算額	決算額	増減	備考
経常損益の部				
2. 会費収入	38,460,000	43,320,000	4,860,000	
正会員	37,050,000	41,890,000	4,840,000	10000円×3,831口 +358万円(JTAS関連新入会)
全国消防長会	100,000	100,000	0	10支部×10,000円
組織会員	1,110,000	1,130,000	20,000	113口×10,000円
賛助会員	200,000	200,000	0	4社×50,000円
3. 広告収入	800,000	572,000	△ 228,000	機関誌広告
4. その他事業収入	6,900,000	15,001,064	8,101,064	
①緊急度判定支援システム事業	360,000	1,256,000	896,000	登録手数料
②救急認定薬剤師認定	5,240,000	3,948,000	△ 1,292,000	申請、更新手数料、認定料、受講料
③PEECコース	0	0	0	地域主催者で徴収
④PEMECコース	1,300,000	1,298,000	△ 2,000	認定手数料
⑤G7サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業	0	3,585,633	3,585,633	
⑥G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会	0	4,913,431	4,913,431	
5. 学会誌定期購読料	870,000	837,000	△ 33,000	@3,000円
6. その他収入	802,000	904,026	102,026	
機関誌販売	10,000	0	△ 10,000	バックナンバー @1,500円+送料
著作権収入	200,000	273,894	73,894	メディカルオンライン等
印税収入	586,000	621,240	35,240	JTAS, PEEC, PEMEC他
POLS CD販売	5,000	8,000	3,000	@500円
自殺未遂患者グッズ手引販売	0	0	0	@200円
預金利息	1,000	892	△ 108	
収入合計	47,832,000	60,634,090	12,802,090	
1. 事業費	32,164,370	36,982,219	△ 4,817,849	
学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0	第25回学術集会(溝端会長)
学会誌発行費	17,147,000	15,635,850	1,511,150	
通常号	10,575,000	9,270,086	1,304,914	25巻1,3~6号(計5冊分)
印刷製本	10,000,000	8,658,958	1,341,042	200万円×5冊
送費	575,000	611,128	△ 36,128	10万円×5回、査読用切手代・封筒代
総会号	6,000,000	5,815,764	184,236	25巻2号(抄録号)
印刷製本	4,500,000	4,622,152	△ 122,152	
送費	1,500,000	1,193,612	306,388	送料+手数料、封筒代込み
オンライン査読システム運用費	572,000	550,000	22,000	年間メンテナンス費用+サーバ料
ニュースレター発行費	1,900,000	1,744,192	155,808	
制作費	700,000	895,748	△ 195,748	A4/8頁(4色刷り):5,500部×1、5,000部×1
送費	1,200,000	848,444	351,556	送料+手数料、封筒代込み
会議費	4,520,000	1,986,494	2,533,506	※web会議開催を含む
理事会	500,000	485,115	14,885	定例4回
委員会	4,000,000	1,501,379	2,498,621	22委員会、小委員会・コース普及活動含む ZOOMアカウント料金
その他	20,000	0	20,000	外部会議への出席
講習会・認定事業	4,183,684	4,767,794	△ 584,110	
①緊急度判定支援システム事業	580,000	1,812,691	△ 1,232,691	ODPEC委託料、他
②薬剤師認定関連	1,963,684	1,484,916	478,768	事務費、通信費他
③PEECコース	120,000	110,000	10,000	ODPEC委託料
④PEMECコース	1,520,000	1,360,187	159,813	ODPEC委託料、webサイト移行費
システム費	2,042,500	2,042,500	0	
ソフトウェア減価償却費	745,600	745,600	0	(減価償却費) 脆弱性のための修繕費 604,800円 強化のためのOS更新費 140,800円
サーバー運用費	1,296,900	1,296,900	0	サーバ運用費(88,000円/月:税込) OSコンバート対応費(75,900円:税込)
その他	371,186	8,805,389	△ 8,434,203	
日本蘇生協議会年会費	200,000	250,000	△ 50,000	正社員として参画
「救急の日」賛助金	100,000	0	100,000	
医療安全全国共同行動会費	50,000	50,000	0	正会員会費1口分
東京利ハク救急災害医療体制負担金	20,000	0	20,000	
G7サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業	0	3,585,633	△ 3,585,633	
G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会	0	4,913,431	△ 4,913,431	
期首棚卸高	52,579	51,393	1,186	手引 期首在庫
期末棚卸高	△ 51,393	△ 45,068	△ 6,325	手引 期末在庫
2. 事務費	10,820,000	10,606,044	213,956	
通信連絡費	1,230,000	1,085,796	144,204	
送料	1,100,000	994,098	105,902	
電話料金	130,000	91,698	38,302	固定電話6万円+携帯2台6万円+税
サーバー運用費	66,000	66,000	0	月5,000円+税
事務委託費	6,664,000	6,299,315	364,685	月30万円+繁忙期α+消費税 HP+Facebook更新料
支払手数料	500,000	531,483	△ 31,483	
印刷費	500,000	254,524	245,476	
備品費	210,000	170,544	39,456	P C購入
消耗品費	150,000	117,317	32,683	
事務局出張旅費	200,000	178,431	21,569	第25回学術集会(大阪)
租税公課	300,000	912,634	△ 612,634	
支払報酬	950,000	990,000	△ 40,000	税理士
雑費	50,000	0	50,000	
予備費	400,000	54,167	345,833	
支出合計	43,384,370	47,642,430	△ 4,258,060	
税引前当期経常利益	4,447,630	12,991,660	8,544,030	
法人税・住民税等	570,000	2,681,900	△ 2,111,900	
当期純利益	3,877,630	10,309,760	6,432,130	

予算・決算比較損益計算書(学術集会)

自2022年4月1日 至2023年3月31日

一般社団法人日本臨床救急医学会

(第25回学術集会)

(単位:円)

区分	予算額	決算額	増減	備考	
経常損益の部					
収入の部	学術集会収入	84,299,000	84,299,000	0	
	学術集會会費収入	36,846,000	36,846,000	0	
	広告収入	1,650,000	1,650,000	0	
	商業展示出展料収入	16,148,000	15,708,000	△ 440,000	
	共催セミナー収入	20,350,000	20,790,000	440,000	
	抄録集売上収入	225,000	225,000	0	
	学術集会寄付金	7,080,000	7,080,000	0	
	本会受入金	2,000,000	2,000,000	0	
	その他収入	0	0	0	
	受取利息	0	0	0	
	収入合計	84,299,000	84,299,000	0	
支出の部	事業費				
	事前準備費	17,684,810	16,845,840	838,970	
	財務会計	198,000	198,000	0	
	運営準備費	422,600	422,600	0	
	企業協賛費	1,546,600	1,546,600	0	
	総務・広報費	427,680	741,400	△ 313,720	
	プログラム費	7,502,440	6,513,540	988,900	
	事前登録関係費	4,507,852	3,513,250	994,602	
	制作費	2,952,263	2,360,793	591,470	
	通信費	127,375	127,375	0	
	事前申込手数料	0	994,602	△ 994,602	
	HP制作費	0	427,680		
	当日運営費	58,461,552	59,341,362	△ 879,810	
	会場費	20,005,272	12,835,790		
	会場キャンセル費	0	834,130	△ 834,130	
	映像機材費	21,206,820	29,244,032	△ 8,037,212	
	看板・ポスター・バロ関係施工費	1,061,500	1,061,500	0	
	運営要員関係費	5,853,100	5,566,055	287,045	
	総会講師料		5,489,240	△ 5,489,240	
	展示会場関係費	2,850,760		2,850,760	
	CARM(受付自動機)利用料	1,000,000	1,000,000	0	
	当日用品費	0	496,264		
	飲食・会合関係費	44,000	528,700	△ 484,700	
	招請者関係費	5,997,900	926,201	5,071,699	
	当日交通費		1,283,170		
	支払手数料		7,645		
	諸雑費	442,200	68,635	373,565	
	事後処理費	588,044	469,468	118,576	
	事後処理費	588,044	469,468	118,576	
	租税公課			0	
	運営委託業者業務管理費	4,825,376	4,903,112	△ 77,736	
	業務委託費	4,825,376	4,903,112	△ 77,736	
	本会拠出金支出	2,000,000	0	2,000,000	
	本会拠出金支出	2,000,000		2,000,000	
支出合計	83,559,782	81,559,782	2,000,000		
税引前当期経常利益	739,218	2,739,218	2,000,000		
法人税・住民税等	0	0	0		
当期純利益	739,218	2,739,218	2,000,000		

損益計算書(合計)

自2022年4月1日 至2023年3月31日

一般社団法人日本臨床救急医学会

区分	共通費	公益事業	収益事業	合計	
経常損益の部					
収入の部	1. 学術集会収入		47,576,000	36,723,000	84,299,000
	2. 会費収入		43,320,000		43,320,000
	正会員		41,890,000		41,890,000
	全国消防長会		100,000		100,000
	組織会員		1,130,000		1,130,000
	賛助会員		200,000		200,000
	3. 広告収入			572,000	572,000
	4. その他事業収入		15,001,064	0	15,001,064
	緊急度判定支援システム事業		1,256,000		1,256,000
	救急認定薬剤師認定		3,948,000		3,948,000
	PEMECコース		1,298,000		1,298,000
	G7サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業		3,585,633		3,585,633
	G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会		4,913,431		4,913,431
	5. 学会誌定期購読料			837,000	837,000
	6. その他収入		137	903,889	904,026
	機関誌販売			0	0
	著作権収入			273,894	273,894
	印税収入			621,240	621,240
	PSLS CD販売			8,000	8,000
	預金利息		137	755	892
収入合計	0	105,897,201	39,035,889	144,933,090	
支出の部	1. 事業費	0	90,427,399	28,114,602	118,542,001
	学術集会運営費		56,327,144	25,232,638	81,559,782
	学術集会補助金		2,000,000		2,000,000
	学会誌発行費	0	14,854,057	781,793	15,635,850
	通常号		8,806,582	463,504	9,270,086
	印刷製本		8,226,010	432,948	8,658,958
	発送費		580,572	30,556	611,128
	総会号		5,524,975	290,789	5,815,764
	印刷製本		4,391,044	231,108	4,622,152
	発送費		1,133,931	59,681	1,193,612
	オンライン査読システム運用費		522,500	27,500	550,000
	ニュースレター発行費	0	1,744,192		1,744,192
	制作費		895,748		895,748
	発送費		848,444		848,444
	会議費	1,346,074	640,420	0	1,986,494
	理事会	485,115			485,115
	委員会	860,959	640,420		1,501,379
	講習会・認定事業	0	4,767,794	0	4,767,794
	緊急度判定支援システム事業		1,812,691		1,812,691
	薬剤師認定関連		1,484,916		1,484,916
	PEECコース		110,000		110,000
	PEMECコース		1,360,187		1,360,187
	システム費	0	0	2,042,500	2,042,500
	ソフトウェア償却費			745,600	745,600
	サーバー運用費			1,296,900	1,296,900
	その他事業費	0	8,799,064	6,325	8,805,389
	日本蘇生協議会年会費		250,000		250,000
	医療安全全国共同行動会費		50,000		50,000
	G7サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業		3,585,633		3,585,633
	G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会		4,913,431		4,913,431
	期首棚卸高			51,393	51,393
	期末棚卸高			△ 45,068	△ 45,068
	事業費配賦額	△ 1,346,074	1,294,728	51,346	0
	2. 事務費	0	10,222,917	383,127	10,606,044
	通信連絡費	521,326	564,470	0	1,085,796
	送料	429,628	564,470		994,098
	電話料金	91,698			91,698
	サーバー運用費	66,000			66,000
	事務委託費	6,299,315			6,299,315
	支払手数料	6,160	505,303	20,020	531,483
印刷費	254,524			254,524	
備品費	170,544			170,544	
消耗品費	117,317			117,317	
事務局出張旅費	178,431			178,431	
租税公課	912,500	20	114	912,634	
支払報酬	990,000			990,000	
事務費配賦額	△ 9,516,117	9,153,124	362,993	0	
3. 予備費		17,754	36,413	54,167	
支出合計	0	100,668,070	28,534,142	129,202,212	
税引前当期経常利益	0	5,229,131	10,501,747	15,730,878	
法人税・住民税等			2,681,900	2,681,900	
当期純利益	0	5,229,131	7,819,847	13,048,978	
前期繰越利益		43,351,679	20,016,924	63,368,603	
次期繰越利益		48,580,810	27,836,771	76,417,581	

損益計算書(一般)

自2022年4月1日 至2023年3月31日

一般社団法人日本臨床救急医学会

(単位:円)

区分	共通費	公益事業	収益事業	合計
経常損益の部				
1. 会費収入		43,320,000		43,320,000
正会員		41,890,000		41,890,000
全国消防長会		100,000		100,000
組織会員		1,130,000		1,130,000
賛助会員		200,000		200,000
2. 広告収入			572,000	572,000
3. その他事業収入		15,001,064	0	15,001,064
緊急度判定支援システム事業		1,256,000		1,256,000
救急認定薬剤師認定		3,948,000		3,948,000
PEMECコース		1,298,000		1,298,000
G7サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業		3,585,633		3,585,633
G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会		4,913,431		4,913,431
4. 学会誌定期購読料			837,000	837,000
5. その他収入		137	903,889	904,026
機関誌販売			0	0
著作権収入			273,894	273,894
印税収入			621,240	621,240
PSLS CD販売			8,000	8,000
預金利息		137	755	892
収入合計	0	58,321,201	2,312,889	60,634,090
1. 事業費	0	34,100,255	2,881,964	36,982,219
学術集会補助金		2,000,000		2,000,000
学会誌発行費		14,854,057	781,793	15,635,850
通常号		8,806,582	463,504	9,270,086
印刷製本		8,226,010	432,948	8,658,958
発送費		580,572	30,556	611,128
総会号		5,524,975	290,789	5,815,764
印刷製本		4,391,044	231,108	4,622,152
発送費		1,133,931	59,681	1,193,612
オンライン査読システム運用費		522,500	27,500	550,000
ニュースレター発行費	0	1,744,192		1,744,192
制作費		895,748		895,748
発送費		848,444		848,444
会議費	1,346,074	640,420	0	1,986,494
理事会	485,115			485,115
委員会	860,959	640,420		1,501,379
講習会・認定事業	0	4,767,794	0	4,767,794
緊急度判定支援システム事業		1,812,691		1,812,691
薬剤師認定関連		1,484,916		1,484,916
PEECコース		110,000		110,000
PEMECコース		1,360,187		1,360,187
システム費	0	0	2,042,500	2,042,500
ソフトウェア償却費			745,600	745,600
サーバー運用費			1,296,900	1,296,900
その他事業費	0	8,799,064	6,325	8,805,389
日本蘇生協議会年会費		250,000		250,000
医療安全全国共同行動会費		50,000		50,000
G7サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業		3,585,633		3,585,633
G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会		4,913,431		4,913,431
期首棚卸高			51,393	51,393
期末棚卸高			△ 45,068	△ 45,068
事業費配賦額	△ 1,346,074	1,294,728	51,346	0
2. 事務費	0	10,222,917	383,127	10,606,044
通信連絡費	521,326	564,470	0	1,085,796
送料	429,628	564,470		994,098
電話料金	91,698			91,698
サーバー運用費	66,000			66,000
事務委託費	6,299,315			6,299,315
支払手数料	6,160	505,303	20,020	531,483
印刷費	254,524			254,524
備品費	170,544			170,544
消耗品費	117,317			117,317
事務局出張旅費	178,431			178,431
租税公課	912,500	20	114	912,634
支払報酬	990,000			990,000
事務費配賦額	△ 9,516,117	9,153,124	362,993	0
3. 予備費		17,754	36,413	54,167
支出合計	0	44,340,926	3,301,504	47,642,430
税引前当期経常利益	0	13,980,275	△ 988,615	12,991,660
法人税・住民税等			2,681,900	2,681,900
当期純利益	0	13,980,275	△ 3,670,515	10,309,760

# 損益計算書(学術集会)

自2022年4月 1日  
至2023年3月31日

一般社団法人日本臨床救急医学会

(第25回学術集会)

(単位:円)

	区分	共通費	公益事業	収益事業	合計	
	<b>経常損益の部</b>					
収入の部	学術集会収入	0	47,576,000	36,723,000	<b>84,299,000</b>	
	学術集會会費収入		36,846,000		36,846,000	
	広告収入		1,650,000		1,650,000	
	商業展示出展料収入			15,708,000	15,708,000	
	共催セミナー収入			20,790,000	20,790,000	
	抄録集売上収入			225,000	225,000	
	本会受入金		2,000,000		2,000,000	
	学術集会寄付金収入		7,080,000		7,080,000	
	収入合計	0	47,576,000	36,723,000	84,299,000	
支出の部	事業費					
	事前準備費	2,099,655	11,927,993	2,818,192	16,845,840	
	一般準備経費	422,600			422,600	
	企業協賛費			1,546,600	1,546,600	
	総務・広報費	411,400		330,000	741,400	
	募集費	198,000			198,000	
	プログラム制作費		6,513,540		6,513,540	
	事前登録関係費		3,513,250		3,513,250	
	制作費	547,600	906,601	906,592	2,360,793	
	通信費	92,375		35,000	127,375	
	事前申込手数料		994,602		994,602	
	HP制作費	427,680			427,680	
	当日運営費	33,287,446	21,395,526	4,658,390	59,341,362	
	会場費	2,272,050	9,205,900	1,357,840	12,835,790	
	会場キャンセル費	834,130			834,130	
	映像機材費	22,120,651	4,043,546	3,079,835	29,244,032	
	看板・ポスター・パネル関係施工費		1,061,500		1,061,500	
	運営要員関係費	4,466,055	880,000	220,000	5,566,055	
	総会講師料		5,489,240		5,489,240	
	当日用品費	496,264			496,264	
	受付自動機使用料	1,000,000			1,000,000	
	飲食・会合関係費	528,700			528,700	
	招請者関係費	212,401	713,800		926,201	
	当日交通費	1,283,170			1,283,170	
	支払手数料	5,390	1,540	715	7,645	
	その他経費	68,635			68,635	
	事後処理費	469,468	0	0	469,468	
	事後処理費	469,468			469,468	
	租税公課				0	
	運営委託業者業務管理費	4,903,112	0	0	4,903,112	
	業務委託費	4,903,112			4,903,112	
		支出合計	40,759,681	33,323,519	7,476,582	81,559,782
		共通費配賦額	△ 40,759,681	23,003,625	17,756,056	0
		税引前当期経常利益	0	△ 8,751,144	11,490,362	2,739,218
		法人税・住民税等	0	0	0	0
	当期純利益	0	△ 8,751,144	11,490,362	2,739,218	

# 貸借対照表

2023年3月31日現在

一般社団法人日本臨床救急医学会

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	公益事業	収益事業	金 額	科 目	公益事業	収益事業	金 額
			円				円
<b>【流動資産】</b>				<b>【流動負債】</b>			
現金及び預金	55,623,719	49,184,627	104,808,346	未 払 金	1,145,714		1,145,714
未 収 入 金	9,584,748		9,584,748	前 受 金	390,000		390,000
貯 蔵 品		45,068	45,068	学術集会前受金			0
学術集会前渡金	2,000,000		2,000,000	預 り 金	42,000	0	42,000
貸 付 金			0	源泉税預り金	233,534	0	233,534
仮 払 税 金			0	未払法人税等		2,681,900	2,681,900
				未払消費税等		912,500	912,500
流動資産合計	67,208,467	49,229,695	116,438,162	流動負債合計	1,811,248	3,594,400	5,405,648
<b>【固定資産】</b>							
ソフトウェア		1,585,067	1,585,067	公益事業より		19,383,591	19,383,591
固定資産合計	0	1,585,067	1,585,067				
収 益 事 業 へ	19,383,591		19,383,591				
				負 債 合 計	1,811,248	22,977,991	24,789,239
				純 資 産 の 部			
				<b>【基 金】</b>			
				基 金	36,200,000		36,200,000
				<b>【剰余金】</b>			
				次期繰越利益	48,580,810	27,836,771	76,417,581
				純資産合計	84,780,810	27,836,771	112,617,581
資 産 合 計	86,592,058	50,814,762	137,406,820	負 債 及 び 純資産合計	86,592,058	50,814,762	137,406,820

## 審議資料 2-2

2023年G7サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業の委託費支出額内訳書

(単位：円)

科 目	所 要 額			備 考
	数 量	単 価	金 額	
<b>I 諸謝金</b>			<b>431,339</b>	
(1) 会議出席謝金(委員会)	10	10,000	100,000	10人×@10,000
(2) エマルゴ研修出席謝金	17	10,000	170,000	17人×@10,000
(3) 現地視察謝金	8	10,000	80,000	8人×@10,000
(4) 報告書作成謝金	3	13,469	40,407	2人×@13,469
(5) 源泉税			40,932	中野税務署(1~3月謝礼支払い分)
<b>II 旅費・宿泊費</b>			<b>1,419,062</b>	
<b>1 委員等旅費</b>			814,771	
(1) 委員会出席旅費			287,667	14人
(2) エマルゴ研修出席旅費			415,391	13人
(3) 現地視察旅費			69,894	
(4) 宿泊費			41,819	2人
<b>2 職員旅費</b>			604,291	
(1) 会議出席旅費			119,351	延3人(委員会・エマルゴ研修)
(2) 現地視察旅費			118,340	3人
(3) 宿泊費等経費			10,255	1人
(4) 協議会出席旅費			290,324	延10人
(5) 現地視察出席旅費			66,021	2人
<b>III 庁費</b>			<b>1,229,340</b>	
(1) 事務所消耗品			3,200	
(2) 事務所資機材購入費			89,284	ホワイトボード、ハードディスク
(3) 検討会会場借上費			105,000	広島県医師会館
(4) 事務所費			271,881	エマルゴテキスト複写代、資料印刷代、飲食代、弁当代
(5) 賃金			720,000	4人×@180,000
(6) 通信運搬費等			39,975	宅配便送料等
<b>IV 雑役労務</b>			<b>179,927</b>	
(1) エマルゴコース受講費補助			163,637	12/9~11エマルゴコース参加
(2) 報告書作成費用			16,290	
小計			3,259,668	
<b>消費税及び地方消費税</b>			<b>325,965</b>	
合計			3,585,633	

## 審議資料 2-2

2023年G7サミット開催に伴う救急医療体制モデルの確立及び準備事業（協議会開催に関わる分）の委託費支出額内訳書

【 G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会 】 分

(単位：円)

科 目	所 要 額			備 考
	数 量	単 価	金 額	
I 諸謝金			2,814,300	
(1) 第1回協議会 (R4.11.28) 出席謝金			351,453	21人×@15,893、1人×17,700
(2) 第2回協議会 (R5.1.18) 出席謝金			383,239	23人×@15,893、1人×17,700
(3) 第3回協議会 (R5.2.24) 出席謝金			415,025	25人×@15,893、1人×17,700
(4) 現地視察 (R5.1.10) 出席謝金			95,358	6人×@15,893
(5) 会場医療体制班検討会出席謝金			460,897	全5回開催、延29人×@15,893
(6) VIP対応医療班検討会出席謝金			127,144	1回開催、8人×@15,893
(7) 緊急対応ユニットWG出席謝金			588,041	全4回開催、延37人×@15,893
(8) MCI対応に関するWG出席謝金			111,251	1回開催、7人×@15,893
(9) 源泉税			281,892	中野税務署
II 旅費・宿泊費			1,369,856	
(1) 第1回協議会 (R4.11.28) 出席旅費			117,490	
(2) 第2回協議会 (R5.1.18) 出席旅費			209,512	
(3) 第3回協議会 (R5.2.24) 出席旅費			174,072	
(4) 現地視察 (R5.1.10) 出席旅費			650,653	
(5) 会場医療体制班検討会出席旅費			0	全4回開催 (Zoom)
(6) VIP対応医療班検討会出席旅費			0	1回開催 (Zoom)
(7) 緊急対応ユニットWG出席旅費			218,129	全4回開催 (うち1回現地)、10人分
(8) MCI対応に関するWG出席旅費			0	1回開催 (Zoom)
III 庁費			282,600	
(1) 協議会会場借上費			282,600	全3回分 (株式会社TCフォーラム)
小計			4,466,756	
消費税及び地方消費税			446,675	
合計			4,913,431	

## 監査報告書

一般社団法人 日本臨床救急医学会  
代表理事 溝端 康光 殿

一般社団法人  
日本臨床救急医学会

監事

坂本哲也 

監事

加藤正武 

私ども監事は、一般社団法人 日本臨床救急医学会の令和5年3月31日に終了する第18期事業年度における貸借対照表、損益計算書について監査を行った結果、証憑類と帳簿が一致し、かつ適正な会計処理が行われていたことを、ここにご報告いたします。

以上

令和5年 6月 2日

## 審議資料 3-1

### 一般社団法人日本臨床救急医学会

#### 令和5(2023)年度事業計画

##### 1. 第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会

テーマ：「救急医療の可視化と暗黙知」

会期：令和5(2023)年7月27日(木)～29日(土)

会場：帝京大学板橋キャンパス(東京都板橋区)

会長：森村 尚登先生(帝京大学医学部 救急医学講座 主任教授)

##### 2. 学会雑誌発行及びオンラインジャーナル26巻(1,2,4～6号)(隔月刊)

##### 3. 抄録集の発行26巻(3号)

##### 4. ニュースレターの発行第15、16号(年2回)

##### 5. 会議開催

1) 理事会 年間4回(定款上)

2) 社員総会 令和5(2023)年6月27日(火)

於 AP品川、Zoomウェビナー配信

3) 会員総会 令和5(2023)年7月27日(木)

於 帝京大学医学部 救急医学講座 第1会場

##### 4) 各種委員会活動(22委員会、特別委員会、合同委員会)

編集委員会、総務委員会、メディカルコントロール検討委員会、会則検討委員会、教育研修委員会、  
評議員選出委員会、広報委員会、丸茂基金日本臨床救急医学会運営委員会、  
学校へのBLS教育導入検討委員会、自殺企図者のケアに関する検討委員会、国際委員会、  
救急認定薬剤師認定委員会、緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会、研究倫理委員会、  
小児救急委員会、患者安全推進検討委員会、  
傷病者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生のあり方に関する普及委員会、  
法執行機関との医療連携のあり方に関する検討委員会、蘇生ガイドラインと救急蘇生法検討委員会、  
救急活動時の救急隊の活動向上に向けた検討委員会、利益相反管理委員会、  
医療機関に所属する救急救命士に関する検討委員会、書籍編集に関する特別委員会、  
日本臨床救急医学会と日本循環器学会による循環器疾患に対する病院前救急の合同委員会

##### 5) その他会議(外部会議への参加)

日本救急医学会、全国MC協議会連絡会、日本救急撮影技師認定機構、日本臨床衛生検査技師会、  
JPTEC協議会、日本蘇生協議会(JRC)、日本救急医療財団、小児救急連絡協議会、  
臓器移植関連学会協議会、医療安全全国共同行動、救急認定ソーシャルワーカー認定機構、  
日本母体救命システム普及協議会(日本産婦人科医会)、日本交通科学学会、  
日本救護救急学会、2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する  
学術連合体

## 審議資料 3-1

### 6. 研修会企画・運営およびコースガイド編集

- ・ J T A S
- ・ P E E C / P P S T
- ・ P S L S / P C E C / A C E C / I S L S
- ・ P E M E C / P P M E C
- ・ A M L S / G E M S
- ・ P A C C
- ・ 入院時重症患者対応メディエーター養成講習会

### 7. 救急認定薬剤師認定関連

更新講習会（第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会 会期中）

令和5年度救急認定薬剤師講習会（令和5年9月9日（土）web配信）

第12回救急認定薬剤師認定試験（令和5年9月3日（日）AP浜松町）

救急専門薬剤師認定関連

第2回救急専門薬剤師審査試験（未定）

### 8. G7 広島サミット救急・災害医療体制確保事業

以上

## 一般社団法人 日本臨床救急医学会 令和5年度予算(案)

## 【一般・学術集会 合計】

(2023年4月1日～2024年3月31日)

		R4年度予算	R4年度決算	R5年度予算	概 要
(収入の部)	<b>1. 学術集会関連収入</b>	<b>81,558,000</b>	<b>84,299,000</b>	<b>57,091,000</b>	第26回総会(森村会長)
	<b>2. 会費収入</b>	<b>38,460,000</b>	<b>43,320,000</b>	<b>43,390,000</b>	10,000円×4,000名(現会員数の約85%程度) +92万円(JTAS関連新入会)
	正会員	37,050,000	41,890,000	41,920,000	10支店×10,000円
	全国消防長会	100,000	100,000	100,000	112口×10,000円
	組織会員	1,110,000	1,130,000	1,120,000	5社×50,000円
	賛助会員	200,000	200,000	250,000	機関誌広告
	<b>3. 広告収入</b>	<b>800,000</b>	<b>572,000</b>	<b>800,000</b>	
	<b>4. その他事業収入</b>	<b>6,900,000</b>	<b>15,001,064</b>	<b>144,799,000</b>	
	①緊急度判定支援システム事業	360,000	1,256,000	720,000	登録手数料
	②救急認定薬剤師認定	5,240,000	3,948,000	3,570,000	認定薬剤師認定申請、認定料(暫定認定者含む) 認定薬剤師更新申請、更新料 専門薬剤師認定申請、認定料
	③PEECコース	0	0	72,000	地域主催者で徴収
	④PEMECコース	1,300,000	1,298,000	1,320,000	認定手数料
	⑤G7広島サミット開催に伴う救急医療体制強化に関する事業	0	3,585,633		
	⑥G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会	0	4,913,431		
	⑦G7広島サミット救急・災害医療体制確保事業			139,117,000	
	<b>5. 学会訪定期購読料</b>	<b>870,000</b>	<b>837,000</b>	<b>777,000</b>	※3,000円
	<b>6. その他収入</b>	<b>802,000</b>	<b>904,026</b>	<b>1,183,000</b>	
機関誌販売	10,000	0	10,000	パッケージ-①1,500円+送料	
著作権収入	200,000	273,894	200,000	メディカルオンライン等	
印税収入	586,000	621,240	967,000	JTAS, PEEC, PEMEC, メディエーター他	
PSLS CD販売	5,000	8,000	5,000	※500円	
自殺未遂患者がスタッフ手引販売	0	0	0	※200円	
預金利息	1,000	892	1,000		
<b>収入合計</b>		<b>129,390,000</b>	<b>144,933,090</b>	<b>248,040,000</b>	
(支出の部)	<b>1. 事業費</b>	<b>113,722,370</b>	<b>118,542,001</b>	<b>230,885,993</b>	
	1) 学術集会関連費	81,558,000	81,559,782	55,181,123	第26回総会(森村会長)
	2) 学術集会運営費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	第26回総会(森村会長)
	3) 学会誌発行費	17,147,000	15,635,850	17,172,000	
	通常号	10,575,000	9,270,086	10,600,000	26巻1,2~4~6号(計5冊分)
	印刷製本	10,000,000	8,658,958	10,000,000	200万円×5冊
	発送費	575,000	611,128	600,000	10万円×5回、査読用切手代・封筒代
	総会号	6,000,000	5,815,764	6,000,000	26巻3号(抄録号)
	印刷製本	4,500,000	4,622,152	4,500,000	
	発送費	1,500,000	1,193,612	1,500,000	送料+手数料、封筒代込み
	オンライン査読システム運用費	572,000	550,000	572,000	年間オンライン費用+サポート料
	4) ニュースレター発行費	1,900,000	1,744,192	2,200,000	
	製作費	700,000	895,748	1,000,000	A4/8頁(4色刷り);5,000部×2回
	発送費	1,200,000	848,444	1,200,000	送料+手数料、封筒代込み
	5) 会議費	4,520,000	1,986,494	7,520,000	※web会議開催含む
	理事会	500,000	485,115	500,000	定例4回(対面1回見込み)
	委員会	4,000,000	1,501,379	7,000,000	20委員会・小委員会・フス普及活動含む ZOOMアカウント料金 パッケージナンバーのJ-STAGEへの掲載費
	その他	20,000	0	20,000	外部会議への出席
	6) 講習会・認定事業	4,183,684	4,767,794	7,024,684	
	①緊急度判定支援システム事業	580,000	1,812,691	3,022,500	00PEEC委託料、他
	②薬剤師認定関連	1,963,684	1,484,916	2,190,184	事務費、通信費、会場費他
	③PEECコース	120,000	110,000	192,000	00PEEC委託料
	④PEMECコース	1,520,000	1,360,187	1,620,000	00PEEC委託料、G7サミットコース、他
	7) システム費	2,042,500	2,042,500	0	
	ソフトウェア償却費	745,600	745,600		JTASコースに計上
	サーバ運用費	1,296,900	1,296,900		JTASコースに計上
	8) その他事業費	371,186	8,805,389	139,788,186	
	日本蘇生協定会年会費	200,000	250,000	500,000	理事として参画
	「救急の日」賛助金	100,000	0	100,000	
	医療安全全国共同行動会費	50,000	50,000	50,000	正会員 会費1口分
	東京村バラ救急災害医療体制負担金	20,000	0	20,000	
	G7サミット開催に伴う救急医療体制強化に関する事業	0	3,585,633		
	G7広島サミット救急・災害医療体制検討協議会	0	4,913,431		
	G7広島サミット救急・災害医療体制確保事業			139,117,000	
	期首棚卸高	52,579	51,393	52,579	手引 期首在庫
	期末棚卸高	△51,393	△45,068	△51,393	手引 出庫見込
	<b>2. 事務費</b>	<b>10,820,000</b>	<b>10,606,044</b>	<b>11,175,000</b>	
通信連絡費	1,230,000	1,085,796	1,230,000		
送料	1,100,000	994,098	1,100,000		
電話料金	130,000	91,698	130,000	固定電話6万円+携帯2台6万円+税	
サーバ運用費	66,000	66,000	66,000	月5,000円+税	
事務委託費	6,664,000	6,299,315	6,664,000	月30万円+繁忙期α+消費税 HP・Facebook更新料	
支払手数料	500,000	531,483	500,000		
印刷費	500,000	254,524	500,000		
備品費	210,000	170,544	210,000	PC購入	
消耗品費	150,000	117,317	150,000		
事務局出張旅費	200,000	178,431	5,000	第26回学術集会	
租税公課	300,000	912,634	500,000		
支払報酬	950,000	990,000	1,300,000	税理士、司法書士	
雑費	50,000	0	50,000		
<b>3. 予備費</b>	<b>400,000</b>	<b>54,167</b>	<b>400,000</b>		
<b>支出合計</b>		<b>124,942,370</b>	<b>129,202,212</b>	<b>242,460,993</b>	
<b>単年度収支(税引前当期経常利益)</b>		<b>4,447,630</b>	<b>15,730,878</b>	<b>5,579,007</b>	
法人税・住民税等		570,000	2,681,900	2,000,000	
当期純利益		3,877,630	13,048,978	3,579,007	
前期繰越利益		63,368,603	63,368,603	76,417,581	
次期繰越利益		67,246,233	76,417,581	79,996,588	

## 審議資料3-2

令和5年3月31日

## 2023年G7広島サミット救急・災害医療体制確保事業に係る見積書

一般社団法人 日本臨床救急医学会

科目	予算額(円)	備考
<b>諸謝金</b>	<b>33,440,000</b>	
・会議出席謝金	2,000,000	
・救急医療体制	15,200,000	医師謝金 @10,000円×120名×4日×2シフト 9,600,000円 その他謝金 @7,000円×100名×4日×2シフト 5,600,000円
・NBC	840,000	
・首脳対応医療機関費用	15,400,000	
<b>旅費・宿泊費</b>	<b>35,800,000</b>	
委員等旅費	33,000,000	
・会議出席旅費	2,500,000	協議会2回と報告会1回
・救急医療体制	28,500,000	旅費 @40,000円×220名 8,800,000円 宿泊費 @25,000円×延700泊 17,500,000円 弁当費用 @2,500円×220名×4日 2,200,000円
・NBC	2,000,000	
職員旅費	2,800,000	
・会議等出席旅費	300,000	
・現地対策本部	600,000	延20名
・宿泊費等経費	1,900,000	
<b>庁費</b>	<b>40,730,000</b>	
・事務用消耗品費	4,200,000	
・救護所等資機材購入経費	17,930,000	医療消耗品、救急・NBC薬剤等
・会場借上経費	1,000,000	広島県医師会館等
・救護班待機室借上経費	6,300,000	100,000円×3室×5日×1か所 1,500,000円 100,000円×2室×4日×6か所 4,800,000円
・駐車場経費	200,000	
・会議費	1,000,000	協議会2回と報告会1回
・賃金	8,000,000	
・通信運搬費	500,000	
・空床確保費用	1,600,000	
<b>雑役労務</b>	<b>16,500,000</b>	
・機器等借上経費	7,000,000	ドクターヘリ借上、宮島フェリー借上、医療機器等
・機器等設置料	7,000,000	野外手術ユニット囲い設置、本部機器等
・報告書製作費用	500,000	
・保険料	2,000,000	
<b>小計</b>	<b>126,470,000</b>	
消費税および地方消費税	12,647,000	小計×10/100
<b>合計</b>	<b>139,117,000</b>	

## 審議資料 4

### 一般社団法人 日本臨床救急医学会 役員改選について

#### 1. 理事 11名以上14名以内〔定款第19条〕

任期：令和5年6月27日から2年（2年後の定時社員総会終結時まで〔定款第21条〕）

##### 1) 【選挙理事】9名以内〔施行細則第19条第2項〕

立候補者（敬称略・五十音順）

- (1) 井上 潤一（日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科）
- (2) 杉田 学（順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科）
- (3) 田中 秀治（国士舘大学大学院 救急システム研究科）
- (4) 田邊 晴山（救急振興財団 救急救命東京研修所）
- (5) 富岡 譲二（社会医療法人 緑泉会 米盛病院 救急科）
- (6) 藤見 聡（大阪急性期・総合医療センター 高度救命救急センター 救急診療科）
- (7) 溝端 康光（大阪公立大学大学院 医学研究科 救急医学）
- (8) 森村 尚登（帝京大学医学部 救急医学講座）
- (9) 守谷 俊（自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科）

**※定数以内のため投票は行いません。〔定款施行細則第23条第3項〕**

**※本年、監事の選出はございません。**

##### 2) 【非選挙理事】5名以内〔施行細則第19条第2項〕

- |                |       |
|----------------|-------|
| (1) 日本医師会      | 細川 秀一 |
| (2) 日本救急看護学会   | 山勢 善江 |
| (3) 全国消防長会     | 門倉 徹  |
| (4) 日本病院薬剤師会   | 鈴木 昭夫 |
| (5) 日本診療放射線技師会 | 西池 成章 |

**▼非選挙理事選考委員会の設置〔定款施行細則第25条及び第26条〕**

**委員長：溝端代表理事、委員：森村副代表理事、藤見庶務担当理**

以上

## 審議資料5-1

### 一般社団法人 日本臨床救急医学会 名誉会員候補者の選出について

#### 【選出についての規定】

- ・「名誉会員の推戴については、評議員を退任した者から推薦することとする。」  
(平成20年3月6日 会則検討委員会決定、平成20年5月17日 理事会承認)
  - ・評議員の定年70歳を迎えた者〔定款第16条第3項3.〕もしくは評議員を辞任した者  
で、役員（理事・監事・学術集会会長）の経験者  
(平成28年5月12日理事会・社員総会)
- 

- 長島 公之（公益社団法人 日本医師会）

以上

## 審議資料5-2

### 一般社団法人 日本臨床救急医学会 功労会員候補者の選出について

#### 【定款】

第16条 3 評議員は、次の各号のいずれかに該当する場合は、評議員資格を失う。

1. 会員の資格を喪失したとき
2. 連続して2年間、正当な理由なく社員総会を欠席したとき
3. 満70歳に達したとき（期中に満70歳に達した場合は、当該事業年度の末日に資格喪失となるものとする）

#### 【理事会内規】

功労会員の定義を内規として、下記3項目を定めることとした。(①、または②+③)

①評議員10年以上

②委員会活動を行っている

③代表理事が推薦する

※1：現職の評議員で次期の任期中に定年（70歳）の年齢になる者で、定年を鑑み評議員申請しなかった者については定年を待たずに推薦する

※2：会員の中から、評議員歴が連続10年以上ある者、もしくは委員会活動において重要な役割をした者は、満66歳を迎えた時点で功労会員に推薦する。

平成27年3月30日（平成26年度第4回理事会承認）

※1：平成29年3月31日（平成28年度第4回理事会追記）

※2：令和3年3月30日（令和2年度第4回理事会追記）

※2 下線：令和4年3月29日（令和3年度第4回理事会追記）

[選出例]

○評議員の定年70歳を迎えた者〔定款第16条第3項3.〕で、上記①の評議員連続10年以上を推薦する。

○委員会活動等で特別に貢献があると認められた者は、上記②、③に該当する者を推薦する。

---

#### ● 北澤 康秀（和泉市立総合医療センター）

（推薦理由：現評議員+満70歳+評議員10年以上経験者）

#### ● 定光 大海（平野総合病院）

（推薦理由：現評議員+満70歳+評議員10年以上経験者）

#### ● 横江 隆夫（国立病院機構 渋川医療センター）

（推薦理由：現評議員+満70歳+評議員10年以上経験者）

#### ● 石原 哲（医療法人 伯鳳会 東京曳船病院）

（推薦理由：現評議員+満70歳+評議員10年以上経験者）

#### ● 切田 学（加古川中央市民病院）

（推薦理由：現評議員+満70歳+評議員10年以上経験者）

#### ● 西本 泰久（京都橘大学）

（推薦理由：現評議員+満70歳+評議員10年以上経験者）

## 審議資料5-2

● 石井 史子 (NPO 救命おかやま)

(推薦理由：現評議員+満70歳+評議員10年以上経験者)

● 仁科 雅良 (島根大学医学部)

(推薦理由：※2)

以上

一般社団法人 日本臨床救急医学会

第 28 回 (2025 年度) 日本臨床救急医学会総会会長推薦について

推薦者

自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科  
会長 守谷 俊 先生

以上

## 日本臨床救急医学会総会・学術集会

- 《第1回》 平成10年6月1日(月)～2日(火) 岡山  
会場 倉敷市民会館、倉敷アイビースクエア、倉敷市芸文館  
会長 小濱 啓次(川崎医科大学救急医学)
- 《第2回》 平成11年4月20日(火)～21日(水) 福岡  
会場 アクロス福岡  
会長 加来 信雄(久留米大学医学部救急医学)
- 《第3回》 平成12年4月26日(水)～27日(木) 東京  
会場 日本都市センター会館  
会長 小林 國男(帝京大学医学部救命救急センター)
- 《第4回》 平成13年4月26日(木)～28日(土) 愛知  
会場 名古屋国際会議場  
会長 野口 宏(愛知医科大学医学部附属病院高度救命救急センター)
- 《第5回》 平成14年4月25日(木)～27日(土) 東京  
会場 明治記念館、日本青年会館  
会長 鈴木 忠(東京女子医科大学救命救急センター)
- 《第6回》 平成15年4月23日(水)～24日(木) 神奈川  
会場 パシフィコ横浜  
会長 山中 郁男(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院救命救急センター)
- 《第7回》 平成16年5月14日(金)～16日(日) 神奈川  
会場 パシフィコ横浜  
会長 杉山 貢(横浜市立大学附属市民総合医療センター救命救急センター)
- 《第8回》 平成17年4月29日(金)～30日(土) 東京  
会場 昭和大学旗の台キャンパス  
会長 有賀 徹(昭和大学医学部救急医学)
- 《第9回》 平成18年5月11日(木)～12日(金) 岩手  
会場 盛岡市民文化ホール、ホテルメトロポリタン盛岡・他  
会長 遠藤 重厚(岩手医科大学高度救命救急センター)
- 《第10回》 平成19年5月17日～18日 兵庫  
会場 神戸国際会議場・ポートピアホテル  
会長 石井 昇(神戸大学医学部附属病院救急部)
- 《第11回》 平成20年6月7日～8日 東京  
会場 東京ビッグサイト  
会長 野口 英一(東京消防庁救急部)
- 《第12回》 平成21年6月11日(木)～12日(金) 大阪  
会場 大阪国際会議場  
会長 横田 順一郎(市立堺病院)

## 審議資料 6

- 《第13回》 平成22年5月31日(月)・6月1日(火) 千葉  
会場 幕張メッセ国際会議場  
会長 大橋 教良(帝京平成大学現代ライフ学部)
- 《第14回》 平成23年6月3日(金)・4日(土) 札幌  
会場 札幌コンベンションセンター  
会長 浅井 康文(札幌医科大学救急集中治療医学講座)  
副会長 中村 恵子(札幌市立大学看護学部)  
副会長 遠藤 敏晴(札幌市消防局)
- 《第15回》 平成24年6月16日(土)・17日(日) 熊本  
会場 熊本県立劇場・熊本学園大学  
会長 木下 順弘(熊本大学医学部侵襲制御医学)
- 《第16回》 平成25年7月12日(金)・13日(土) 東京  
会場 東京国際フォーラム  
会長 丹正 勝久(日本大学附属板橋病院救命救急センター)  
副会長 有賀雄一郎(東京消防庁救急部長)
- 《第17回》 平成26年5月31日(土)・6月1日(日) 栃木県下野市  
会場 自治医科大学  
会長 鈴木 正之(自治医科大学救急医学教室)  
副会長 中村美鈴(自治医科大学看護学部)  
副会長 病院前救護体制検討部会小山・芳賀地区分科会事務局
- 《第18回》 平成27年6月4日(木)・5日(金)・6日(土) 富山  
会場 富山県民会館  
会長 奥寺 敬(富山大学大学院危機管理医学 教授)
- 《第19回》 平成28年5月12日(木)・13日(金)・14日(土) 福島  
会場 ビッグパレットふくしま  
会長 高谷 雄三(一般社団法人 福島県医師会 会長)  
副会長 田勢長一郎(福島医大救急科教授)  
顧問 石井正三(日本医師会常任理事)
- 《第20回》 平成29年5月26日(金)・27日(土)・28日(日) 東京  
会場 東京ビッグサイト  
会長 坂本 哲也(帝京大学医学部救急医学講座 主任教授)  
副会長 猪口 正孝(東京都医師会)  
森住 敏光(東京消防庁救急部)
- 《第21回》 平成30年5月31日(木)・6月1日(金)・2日(土) 愛知  
会場 名古屋国際会議場  
会長 中川 隆(愛知医科大学 名誉教授/常滑市民病院)  
副会長 武山 直志(愛知医科大学病院救命救急科教授)  
松月 みどり(愛知医科大学看護学部 クリティカルケア看護学校教授)
- 《第22回》 平成31年5月30日(木)・31日(金)・6月1日(土) 和歌山  
会場 和歌山県民文化会館・アバローム紀の国  
会長 加藤 正哉(和歌山県立医科大学附属病院 高度救命救急センター)  
副会長 坂下 恵治(りんくう総合医療センター放射線技術科)、  
野尻 孝子(和歌山県福祉保健部 健康局長)

## 審議資料 6

《第23回》Live 配信：令和2年8月27日（木）～28日（金）

オンデマンド配信：令和2年9月16日（水）～10月16日（金）

会場 Web 配信

会長 田中 秀治（国士舘大学大学院 救急システム研究科 教授）

副会長 横田 由佳（杏林大学看護部）

《第24回》LIVE 配信：令和3年6月10日（木）～12日（土）

オンデマンド配信：2021年6月10日（木）～30日（水）

会場 Web 配信

会長 松田 潔（日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター救命救急科 教授）

副会長 岡野 敏明（川崎市医師会 会長）

日迫 善行（川崎市消防局 局長）

《第25回》令和4年5月25日（水）～27日（金）

会場 大阪府立国際会議場

会長 溝端 康光（大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学）

副会長 茂松 茂人（大阪医師会 会長）、

小西 一功（大阪市消防局 局長）

《第26回》令和5年7月27日（木）～29日（土）

会場 帝京大学板橋キャンパス

会長 森村 尚登（帝京大学医学部 救急医学講座）

副会長 猪口 正孝（東京都医師会副会長）

門倉 徹（東京消防庁救急部長）

浅香 えみ子（東京都看護協会 看護制度委員会委員）

《第27回》Web：令和6年7月初旬予定

集合型：令和6年7月18日（木）～20日（土）予定

会場 Web 配信+かごしま県民交流センター（集合型）予定

会長 富岡 譲二（社会医療法人 緑泉会 米盛病院 救急科）

### 新次々期会長（第28回）について

定款第20条4項 会長及び次期会長は、理事会の決議を経て代表理事が推薦し、社員総会の承認を受けて選任する。

定款第21条4項 会長及び次期会長の任期は、学術集会終結の日の翌日に始まり、次期学術集会終結の日に終わる。

#### ・理事会推薦

《第28回》令和7（2025）年

会長 守谷 俊（自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科）

## 審議資料 7-1

## 日本臨床救急医学会 定款施行細則の変更について

『救急隊員の組織会員制』について、定款施行細則第32条の変更のご審議をお願いします。  
定款施行細則の変更は、理事会での承認と、社員総会（評議員会）での承認が必要となります。

## 新旧対照表

## ・定款施行細則第32条

	旧	コメント	新
第32条	当法人は、 <u>個人</u> 会員で構成されることを原則とするが、救急隊員の当法人への参加が円滑、円満に行われるために、 <u>当分の間</u> 、次の各号により組織会員制を導入する。尚、この組織会員制は、救急隊員が個人的に会員になることを妨げるものではない。	・個人会員を正会員へ ・当分の間を削除	当法人は、 <u>正</u> 会員で構成されることを原則とするが、救急隊員の当法人への参加が円滑、円満に行われるために、次の各号により組織会員制を導入する。尚、この組織会員制は、救急隊員が個人的に会員になることを妨げるものではない。
1	組織会員制は、各消防機関単位で行われる。	変更なし	
2	登録された消防機関は、その登録口数に応じて発表、司会（座長）ができる。ただし学会参加費は別途支払う。	人数を明確化	登録された消防機関は、 <u>1口あたり4名として</u> 、その登録口数に応じて発表、司会（座長）ができる。ただし学会参加費は別途支払う。
3	発表者、司会者（座長）は、学術集会当日までに申請する。	内容を明確化	<u>登録されていない消防機関からの</u> 発表者、司会者（座長）は、学術集会当日までに <u>個人的に正会員</u> 申請する。
4	組織会員による発表者、司会者（座長）は、評議員、役員としての資格を有しない。	5にあるので削除可能	削除
5	消防機関の者で評議員になろうとする者は、正会員として登録しなければならない。	変更なし	
6	組織会員となった <u>消防本部</u> は、その登録口数に応じ、学会雑誌を得ることができる。	冊数を明確化	組織会員となった <u>消防機関</u> は、 <u>1口あたり1冊として</u> 、その登録口数に応じて、学会雑誌を得ることができる。
		新たに	組織会員と正会員の学会参加費は、学術集会ごとに会長が定める。

## 審議資料 7-2

### 第8章 救急隊員の組織会員制

- 第32条 当法人は、個人会員で構成されることを原則とするが、救急隊員の当法人への参加が円滑、円満に行われるために、当分の間、次の各号により組織会員制を導入する。尚、この組織会員制は、救急隊員が個人的に会員になることを妨げるものではない。
1. 組織会員制は、各消防機関単位で行われる。
  2. 登録された消防機関は、その登録口数に応じて発表、司会（座長）ができる。ただし学会参加費は別途支払う。
  3. 発表者、司会者（座長）は、学術集会当日までに申請する。
  4. 組織会員による発表者、司会者（座長）は、評議員、役員としての資格を有しない。
  5. 消防機関の者で評議員になろうとする者は、正会員として登録しなければならない。
  6. 組織会員となった消防本部は、その登録口数に応じ、学会雑誌を得ることができる。

### ↓ 変更後

- 第32条 当法人は、正会員で構成されることを原則とするが、救急隊員の当法人への参加が円滑、円満に行われるために、次の各号により組織会員制を導入する。尚、この組織会員制は、救急隊員が個人的に会員になることを妨げるものではない。
1. 組織会員制は、各消防機関単位で行われる。
  2. 登録された消防機関は、1口あたり4名として、その登録口数に応じて発表、司会（座長）ができる。ただし学会参加費は別途支払う。
  3. 登録されていない消防機関からの発表者、司会者（座長）は、学術集会当日までに個人的に正会員申請する。
  4. 消防機関の者で評議員になろうとする者は、正会員として登録しなければならない。
  5. 組織会員となった消防機関は、1口あたり1冊として、その登録口数に応じて、学会雑誌を得ることができる。
  6. 組織会員と正会員の学会参加費は、学術集会ごとに会長が定める。